

第10回・夏休み自然観察記録コンクール

身のまわりの自然をよく見て、作文や絵にくわしくかいてみよう

だて・すけしげ
1932年三笠市生まれ
学芸大学札幌分校修了
三笠市立教育研究所員
空知教育研修センター講師

伊達佐重

○入賞者
（一・二年生）

金賞

大木 菜緒（札幌市立上野幌東小学校二年）

とうやこでつかまえたエビのかんさつ

銀賞

小野 萌夏（札幌市立みずほ小学校二年）

だんご虫のかんさつ

銅賞

青山 舜（芦別市立芦別小学校一年）

えびやさかなをつつたよ

秋葉 颯樹（函館市立東山小学校二年）

ぼくのカタツムリ日記

佳作

大竹 柊平（札幌市立厚別北小学校一年）

スズムシのようす

早坂 健（札幌市立厚別北小学校二年）

ぼくのカブト虫

斎藤 茉希（札幌市立平岸高台小学校一年）

コオロギのだつぴ

松永 渉（帯広市立帯広小学校一年）

サワガニのかんさつ

三橋 朋也（札幌市立和光小学校一年）

くさかげろうの卵からの絵

武藤有希野（芽室町立西小学校二年）

ゆきののうちの近くの川で

オリベラ 健（札幌市立発寒東小学校二年）

見つけた生きもの

ふしぎ発見ー虫こぶー

恒川 礼奈（教育大附属釧路小学校二年）

かたつむりのエスカーとズー

（三・四年生）

金賞

坂 昌樹（札幌市立緑丘小学校四年）

オオウバユリの観察

銀賞

笠巻 峻（喜茂別町立喜茂別小学校三年）

ミズナラにみる虫

銅賞

鈴木 天理（滝川市立東小学校四年）

キャベツをめぐるチョウたち

中村 勇介（札幌市立共栄小学校三年）

自分で見つけた虫の図鑑

佳作

浦山 悟実（苫小牧市立北星小学校三年）

あお虫日記

佐々木雄大（砂原町立砂原小学校三年）

はじめてかったカブト虫日記

曾根 静香（函館市立北美原小学校三年）

スズムシの観察日記

松永 滉平（帯広市立帯広小学校三年）

えだ豆といんげん豆のかんさつ

奥野 良太（戸井町立戸井西小学校三年）

戸井町オオカマキリはかせになろう

前崎 秀奈（札幌市立北白石小学校四年）

もしゃもしゃの正体

高橋 秀禎（函館市立湯川小学校三年）

アゲハが大きくなるまで

蒲生 早紀（札幌市立手稲中央小学校四年）

キアゲハの観察

（五・六年生）

秋葉 凜樹（函館市立東山小学校五年）

クワガタ採り

銀賞

浜本 健汰（苫小牧市立豊川小学校五年）

苦小牧の蝶調べ

銅賞

鈴木 生（栗山町立栗山小学校五年）

昆虫たちの足

小上 拓也（札幌市立あいの里西小学校六年）

テントウムシの観察

佳作

菅原 涼平（江別市立大麻西小学校五年）

近所の鳥調べ

オリベラ美理央（札幌市立発寒東小学校五年）

タンポポの観察

小松 萌香（苫小牧市立北星小学校五年）

カブトムシの成長記録

山本 晃平（阿寒町立阿寒湖小学校五年）

ポッケの作文

久末 康太（阿寒町立阿寒湖小学校五年）

ポッケの森

鹿野 秀和（旭川市立豊岡小学校六年）

ぼくの珍種標本コレクション

岩淵 朝子（芦別市立西芦別小学校六年）

ヒマワリ畑

櫻井 清香（芦別市立西芦別小学校六年）

カサプランカ

学校賞

○阿寒町立阿寒湖小学校

○札幌市立厚別北小学校

○函館市立東山小学校

審査を終えて

審査委員長 伊達 佐重

三・四年生に力作

今年はこのコンクールを始めて第十回目になります。北海道新聞社、北海道新聞野生生物基金は、そのお祝を込めて、いつもより入賞者を増やしていただきました。そのため、全部の入賞作品について説明するには字数が足りません。全体を通して気がついた点だけを書かせてもらいます。全学年の中では、三・四年生に時間をかけて楽しみながら取り組んだ力作が目立ちました。たとえば坂昌樹さん（札幌・緑丘小四年）の「オオウバユリの観察」は、実物をじっくりと見て要点をとらえながら、自分の感想をきちんと記した文でした。

今回、新しい形のとめ方が目を引きました。小野萌夏さん（札幌・みずほ小二年）の「だんご虫のかんさつ」です。クイズの形をとり、予想を立てながら本当はどうなのかと少しずつ正しい答えに近づいていくのです。同じような方式をとって成功したのが、オリベラ健さん（札幌・発寒東小二年）の「ふしぎ発見ー虫こぼー」や、

前崎秀奈さん（札幌・北白石小四年）の「もしやもしやの正体」です。

また、思いつきの良さを見せたのが鈴木生さん（栗山・栗山小五年）「昆虫たちの足」で、虫眼鏡による拡大された目で昆虫たちの足をていねいに比べていました。

作品で工夫してほしいのは、植物標本の作り方です。一つは十分に乾燥させるために「はさみ紙」の取りかえを毎日すること。もう一つは、正しい呼び名をつけるために人に尋ねたり、図鑑で調べることです。標本がまだ湿っていたり、名前が間違っていると、せつかくの苦労が水の泡になってしまふからです。

来年の夏も、多くの小学生のみなさんと、このコンクールで会えることを楽しみにしています。

－夏休み自然観察記録－

コンクール作品募集メモ

募集 7月19日～9月16日
応募 道内106校から218点
入選 入賞12点、佳作24点、学校賞3校
審査委員

- 依 浩三（北海道自然保護協会会長）
- 佐藤 謙（同 副会長）
- 伊達 佐重（同 常務理事・審査委員長）
- 福地 郁子（同 常務理事）
- 竹中万紀子（同 理事）
- 森田 正治（同 理事）
- 後藤 言行（同 理事）
- 小堀 煌治（北海道新聞野生生物基金事務局長）

主催 北海道自然保護協会
北海道新聞社
財団法人・北海道新聞野生生物基金